

クリエ

プロジェクト



2017年度マニュアル

(2017/4/10更新, 西村竜一)

- ◆ 「クリエプロジェクト」は、やる気あふれる学生によるプロジェクト活動を和歌山大学クリエが支援して、みなさんの和歌山大学での学修をより実り多いものにするための制度です
- ◆ PBL型（プロジェクト型かつ課題解決型）の教育プログラムによって自主的な学びをサポートします

クリエって何なの？

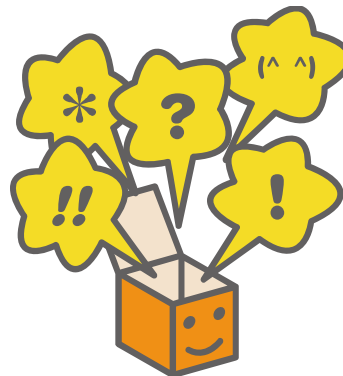
和歌山大学 クロスカル教育機構

教養・協働教育部門

クリエユニット

(2016度までは、協働教育センター)

学生の自主的な学びを支援する
日本で最初の大学内の教育組織



学生主体の学びの支援制度

クリエイプロジェクト（本制度）

- ◆ 自ら考え、成し遂げる主体性の育成
- ◆ チームで学び、コミュニケーション能力を伸ばす
- ◆ プレゼンや作文の実践、社会人基礎力の向上
- ◆ 活動のための資金獲得のチャンス
- ◆ クリエプロジェクトのみでは単位認定はありません

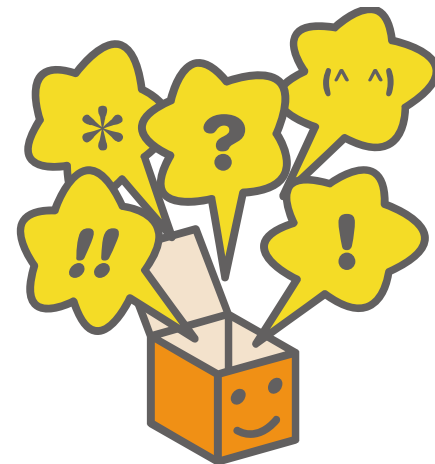
自主演習

- ◆ 学生がテーマと指導教員を決める和太独自の科目
- ◆ ひとりでもチームでもOK
- ◆ 単位を認定（教養科目と各学部専門科目）
- ◆ クリエプロジェクトと相互参加OK



「クリエイプロジェクト」

概要



CREA PROJECT 学生プロジェクト活動

- ◆ 本学教員による指導の下、チームを組み、積極的に活動する本学内の学生活動（プロジェクト）を和歌山大学クリエがサポートします
- ◆ プロジェクトメンバから提案された課題（ミッション）に対し、活動資金を補助する制度を含みます

クリエ（クリエプロジェクト担当教員、クリエスタッフ）

さまざまな指導、活動場所や活動に必要な基礎的支援、ミッションに対する資金補助

登録プロジェクト（団体）

- 指導教員（正・副）
- プロジェクト代表者等（学生）
- プロジェクトメンバ（学生）

1つのプロジェクトから、最大3件ミッションの提案を受付けます

ミッション（課題）
リーダ+メンバ

ミッション（課題）
リーダ+メンバ

ミッション（課題）
リーダ+メンバ

クラブ・サークルとは違う

- ◆ クリエプロジェクトは、クラブ活動ではありません
- ◆ 自主的な学びの場。目的は 「学び」 です
 - 目標達成のためには、トレーニング は必要
 - 自分の能力を 段階的に 伸ばして目標達成
- ◆ 大学 という環境を有効活用できることが強み
 - 大学の教員/先輩や周囲との協働
 - 学部を融合させたテーマにも挑戦

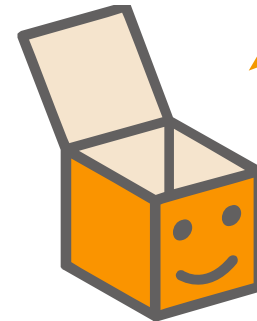
クリエはそんな学びをサポートします



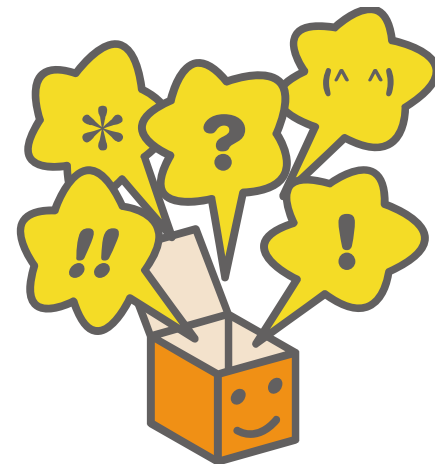
2016年度クリエイプロジェクト

- レスキューロボットプロジェクト
- 和歌山大学ソーラーカープロジェクト
- クリエ映像制作プロジェクト
- 脳情報総合研究プロジェクト
- Wakayama ASEAN Project (WAP)
- クリエゲーム制作プロジェクト
- クリエIT教育プロジェクト
- 天体継続観測プロジェクト
- クリエデザインプロジェクト
- クリエ楽曲制作プロジェクト
- EAT!～食による和歌山活性～
- 高野七口活性化プロジェクト「ばあむ。」
- 和歌山大学宇宙開発プロジェクト (WSP)
- SSJ (スーパーサイエンティストジュニア)
- ソーラー四輪自転車プロジェクト
- 3大学連携天野地域活性プロジェクト
- 次世代ICT研究開発プロジェクト
- 都市熱利用プロジェクト
- ヘルスツーリズムによる地域ブランド化

19プロジェクト!



「プロジェクト」の説明



「プロジェクト」

- ◆活動する学生団体をプロジェクトと呼びます
 - 登録制（プロジェクト登録申請書を提出、審査有）
- ◆プロジェクトは、指導教員とプロジェクトメンバ（学生）から構成します
 - プロジェクトメンバの名簿変更は随時（追加・削除等）
- ◆登録承認されたプロジェクトには、クリエ施設の利用や消耗品（コピー紙等）の基礎的支援を提供します
 - 学外活動の際には、大学加入の保険（学生教育研究災害傷害保険）が利用可。ただし、名簿の登録が必要。
 - 【重要】「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」及び相当の保険には加入が必須。正課、学校行事、課外活動及びその往復中で、他人にけがをさせたり、財物の損壊による損害賠償を補償。保険料年間340円。学生センターにて手続き

プロジェクトに対する基礎的支援

- ◆ さまざまな技術的サポート、助言
- ◆ 申請書・報告書等作文やプレゼンテーションの指導
- ◆ 活動場所の提供（クリエ内、G棟貸出）
- ◆ 工作機器のライセンス講習
- ◆ プリンタ印刷（大判プリンタを含む）
- ◆ クリエ利用ポイント2,000ポイントを配布
 - クリエに在庫がある部材と交換可能（1ポイント=1円）
 - 登録承認と同時に利用できます。クリエ窓口まで
- ◆ メールボックス
 - 郵便物の受け取りが可能（貴重品、代金引換は不可）
 - 〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学協働教育センター「〇〇〇プロジェクト」
- ◆ 安全教育、保険等

利用方法はクリエにお問い合わせください

総合研究棟1階

コトづくり室

センタールーム

フアブスペース

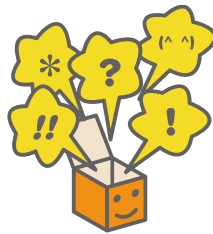
機械加工室

展示スペース



ミーティング
PC作業
資料作成・印刷
電子工作 etc.
OK!

工作機械の利用には、ライセンス講習の受講が必要です。



「プロジェクト代表学生」等について

2017年度から変更

◆プロジェクト代表学生

- クリエからの連絡事項をプロジェクトに参加するすべてのメンバーに正しく伝達ができる人を記入するようにしてください。

◆安全担当学生

- 定期的に行われる「クリエ安全教育ガイダンス」に出席する予定の学生を記入してください。クリエから安全（工作機器の利用・学外活動を含む）に関する連絡をすることがあります。
- 代表と兼ねることができますが、**工作機械を使用する**予定のプロジェクトは、原則として、代表とは別の学生としてください。

◆5S（整理・整頓等）担当学生

- クリエや学内の教室等を利用する際に、整理・整頓等の確認を主に担当する学生を記入してください。また、クリエから5Sに関する連絡をすることがあります。
- 代表と兼ねることができますが、**クリエの部屋を常時使用する**予定のプロジェクトは、原則として、代表とは別の学生としてください。

「指導教員」

◆プロジェクトは、必ず本学教員の指導の下で活動をしてください

- 正と副の指導教員を登録することができます
- 一人の教員が指導教員（正）を複数兼ねることはできません

◆教員による指導を適切に受けていないと判断された場合、プロジェクトの登録抹消、ミッションの停止（予算の引上げ）となります

- クリエプロジェクト担当教員が指導を与えても改善が無い場合、クリエのユニット長が判断を下します

◆クリエが指導教員を紹介することも可能です

- 新規プロジェクト立ち上げの際はご相談ください
- 必要に応じて、指導教員の変更も検討してください

「会議」等について

◆クリエプロジェクト会議

- クリエプロジェクト全体の運営について情報交換
- 毎月1回開催（原則として、月の最終月曜日5コマ）
- 各プロジェクトから1名以上の出席義務（原則、代表学生）
- 指導教員の出席推奨

◆クリエ安全教育ガイダンス

- 全学の安全教育方針に沿ったガイダンス（指導）
- 前期・後期の期間中で各1回（年2回）の予定
- 各プロジェクトから1名以上の出席義務（原則、安全担当）

◆モノづくり系プロジェクト会議

- 機械加工等を行うモノづくり系プロジェクトを対象
- 機械加工室・ファブスペース等の運用、安全等について

プロジェクトのメールアドレス、SNS

◆公開用メールアドレス

- 外部に公開可能なメールアドレスを申請書に記入してください
- 問い合わせがあったときは、伝えることがあります
- 個人情報保護のため、携帯電話を含めて個人のアドレスは絶対に記入しないでください
- 公開用メールアドレスを所有していない場合は、新しく作成することを強くお勧めします（クリエでも作成することができます）

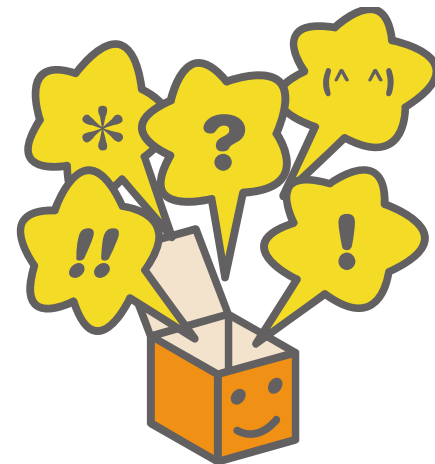
◆ウェブページ、SNSアカウント等

- 広報目的にクリエのウェブページから、各プロジェクトのウェブページやSNSアカウントにリンクを作成します
- ウェブページやツイッター、Facebook等、リンクが可能なアドレスを記載してください
- 情報発信の際は、ルールや社会的なマナーに注意すること

「プロジェクト」の役割

- ◆ クリエプロジェクトとして積極的な活動を！
 - ミッションの手伝いを通じた人材（後輩）育成が可能です
 - クリエ施設の運営補助、広報活動（ブログ、SNS）等
- ◆ 「クリエイプロジェクト会議」には、プロジェクトから必ず最低1名が出席してください
- ◆ クリエの諸活動への参加は、プロジェクト単位を基本として想定しています
 - オープンキャンパス、公開体験学習会、徳島大学合同発表会、活動内容のポスター展示等
- ◆ 「ミッション」を立案し、申請することができます
 - ミッション（活動資金）無しプロジェクトを歓迎します
 - 2年目以降にミッションの申請を予定しているプロジェクトの新規参入を歓迎します

「ミッション」の説明



「ミッション」

- ◆プロジェクトのメンバは、ミッション（課題）を実施するための活動資金を申請できます
- ◆ミッションは、細分化された具体的な目標を年度内に達成するように計画されている必要があります
- ◆ミッションのメンバは、責任を持って課題を実行する学生として、登録済のプロジェクトのメンバから構成してください
 - ミッションを主体的に実施する数名を選抜すること
 - 不用意に、多くの人を登録することは避けてください
 - ミッションリーダーは他のミッションのリーダーにはなれません
 - ミッションのメンバ構成は、途中変更不可です
 - ただし、プロジェクトのメンバが手伝うことは制限しません

「通常枠」 「基金挑戦枠」

- ◆ ミッションには、予算規模に合わせて「**通常枠**」と「**基金挑戦枠**」があります
 - 和歌山大学基金がクリエプロジェクトの優れた活動に対し、研究奨学金を給付する制度を利用
- ◆ 申請額の上限は「通常枠」が**30万円**、「基金挑戦枠」が**100万円（予定）**です
 - 「基金挑戦枠」の**採択は2件程度**で、採択後の配分予算は合計で100万円程度です
- ◆ 「通常枠」「基金挑戦枠」は、同一の枠組み、期間で運用しますが、**審査基準には差を設定します**
- ◆ 1つのプロジェクトから申請できるミッションの上限は、**3件**です（通常枠と基金挑戦枠を合わせて）

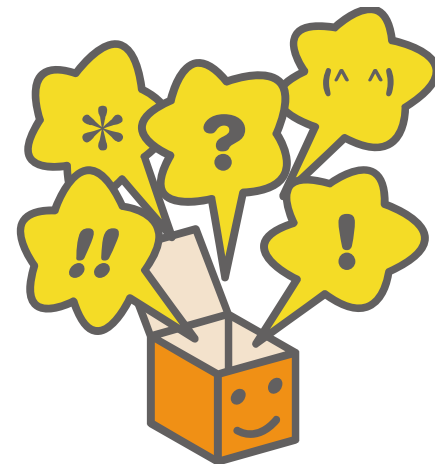
「ミッション」 予算について

- ◆購入できるのは、ミッションに必要な物品のみです
 - クリエ内で共通して使用する備品（掃除用具や机、棚等）の整備については、別途、クリエに相談をしてください
- ◆「クリエ利用ポイント」に変換することができます
 - クリエ内に在庫がある部材と交換することができます
- ◆**旅費等の申請には、申請調書の提出前にクリエに相談が必須です**
- ◆予算は、プロジェクトごとに指導教員に配分されます
 - 指導教員は、学生と協力し、適切に予算を執行してください
 - 複数のミッションを有するときも一括配分します
 - 12月末までに「納品・検品」を完了する必要があります**
(予算の残額は、1月初旬には引き上げます)

「ミッション」の役割

- ◆ 計画的に、目標に向けて活動をしてください
- ◆ **実績記録書**（実施計画書）を定期的に提出し、クリエ担当者の進捗確認を受けてください
 - **実績記録書は、毎月、進捗内容を記録し、指導教員の確認を受けてください**
 - 実績記録書（実施計画書）の作成、提出方法には、別途用意するマニュアルを参照してください
 - 年度途中でミッションを完了することができます。クリエに完了報告をした場合、次回からの報告は不要になります
- ◆ 年度末には、成果報告が必須です
 - 成果発表会（2月ごろ）
 - 成果報告書（3月末ごろ、A4版4ページ程度）

申請方法・その他



申請の手順

1. 「プロジェクト」申請（随時、年度ごとに必要）
 - a) 申請時: プロジェクト登録申請書（指導教員のサイン含）
 - b) 登録後: 活動内容紹介ポスター原稿（B1版、任意）
 - c) 変更時: プロジェクト登録申請書（指導教員のサイン含）
2. 「ミッション」申請（毎年5月〆切を予定）
 - a) 申請時: ミッション申請調書（指導教員のサイン含）
実施計画書（申請時の計画を記入すること）
 - a) 審査会: プレゼンテーションによる審査会を実施
 - b) 審査後: ミッション実施意思確認書、実施計画書

申請は締切に余裕をもって手続きしてください。

クリエで相談、質問を受け付けます。まず相談を！

審査・評価について

◆提出された申請書類、報告書の内容や作文も評価の対象となります

- 提出前に指導教員の添削指導を受けてください

◆これまでのプロジェクト及びミッションの活動実績は、次年度以降にミッションを審査する際の基準の一つとします

- 審査・評価結果は、原則として学内に公開します

◆ミッションで掲げた目標達成の失敗が、年度末の低い評価には直結しません

- 計画的かつ適切な活動をし、報告書等の義務を果たしているミッションを高く評価しています

◆「徳島大学との合同発表会」は、プロジェクトの活動として扱うため、ミッションの評価からは除外します

メーリングリストについて

- ◆ クリエからの連絡は、メーリングリスト（ML）を通じて行われます。メールの確認をしてください
 - 大学アドレスのメールを携帯電話等に転送する設定を推奨します
- ◆ 全学生がMLに登録されるわけではないので、代表学生は連絡事項をプロジェクトメンバに伝えてください
- ◆ ミッション確定前のML登録者
 - プロジェクト代表学生
 - 安全担当学生
 - 5S（整理・整頓等）担当学生
 - 指導教員
- ◆ ミッション確定後のML登録者
 - 上記に加えて、ミッションのメンバ全員

「学外活動届」について

◆学外でプロジェクト活動するときは提出が必須

- 緊急時の連絡先の確保**。代表者及び指導教員のサインをして、**3週間前**までにクリエに提出してください
- みなさんの安全な活動内容の確認
- 活動中の負傷等の保険請求の資料（保険加入が必要）
- 活動の実績を記録として残すための資料

◆**本学教員による引率が原則**

- 教員の旅費が必要な時は、ミッションの予算で要求してください（審査で認められない場合もあります）
- 1回1万円程度、引率教員の旅費を補助する制度を導入する予定です（詳細は後日）

◆**法令や社会的ルール等を確認**した上で、参加者や周囲の人々の安全が十分に確保されていること

人権の保護及び法令等の遵守について

◆社会人基礎力を学ぶ上で、人権の保護及び法令等の遵守を考える、知ることは重要です

◆**該当する場合、ミッションの申請調書の中で対応案について記述してください（記入欄を新設しました）**

- 実験等で相手方の同意・協力を必要とするもの
- 個人情報を取り扱うもの
- 生命倫理・安全対策を必要とするもの
- 法令等の順守に注意を要するもの等
（例えば、アンケートの保管方法、公道利用の手続き等）

◆**学会発表や論文投稿等の際は、事前（発表申し込み、論文投稿の前）に、指導教員と相談し、クリエに連絡してください（必須）**

- 全国の大学で、研究者は研究倫理教育を受けることが義務化されており、準じた対応が必要となる場合があります

重要な留意点

- ◆ わからない事を放置せず、クリエに相談してください
- ◆ 本学教員による適切な指導が活動の必須条件です
 - 安全性や対外的活動に関しては、特に、指導教員と十分に相談してください
- ◆ マスコミ報道や受賞、イベントがある場合は、小さなことでも事前に、必ず、連絡してください
 - 連絡はメールもしくはクリエ窓口にお願いします
 - 実績を記録し、広報等に活用させていただくことがあります
- ◆ 単位の取得には、授業科目である「自主演習」の履修が別途必要です
- ◆ 制度の意義を理解し、他の学業に悪い影響がないように十分に注意してください
 - クリエプロジェクト担当教員が指導を与え、クリエのユニット長がプロジェクト登録を取り消すことがあります

今後のスケジュール（2017年度）

- ◆ 「プロジェクト」の登録申請（随時）
 - ミッション申請前に、プロジェクトの登録を完了
 - 「プロジェクト登録申請書」をクリエのウェブサイトからダウンロードして使用してください
 - **2016年度から継続の申請は、4月17日までに**
- ◆ 「ミッション」の申請（申請調書、実施計画表提出）
 - 申請×切、添削指導・相談：5月中旬
 - **決定次第、クリエのウェブとメーリングリストで連絡します**
- ◆ 「ミッション」申請後
 - 審査会：5月末～6月頭に実施予定、プレゼン
 - 審査結果発表：6月中旬を予定

質問

- ◆この資料で不明な点は、クリエイプロジェクト担当教員の西村までメールでお問い合わせください

nisimura@sys.wakayama-u.ac.jp

- ◆プロジェクト登録申請書のファイルとともにクリエイのウェブページに本資料を掲載します

<http://www.crea.wakayama-u.ac.jp/project/2017/file.html>

- ◆ミッション申請調書の公開は、もうしばらくお待ちください。組織変更の関係で少し遅れています。

- ◆ぜひ本制度をご活用ください